

向日市の保育の拡充を求める請願

紹介議員

常盤 ゆかり

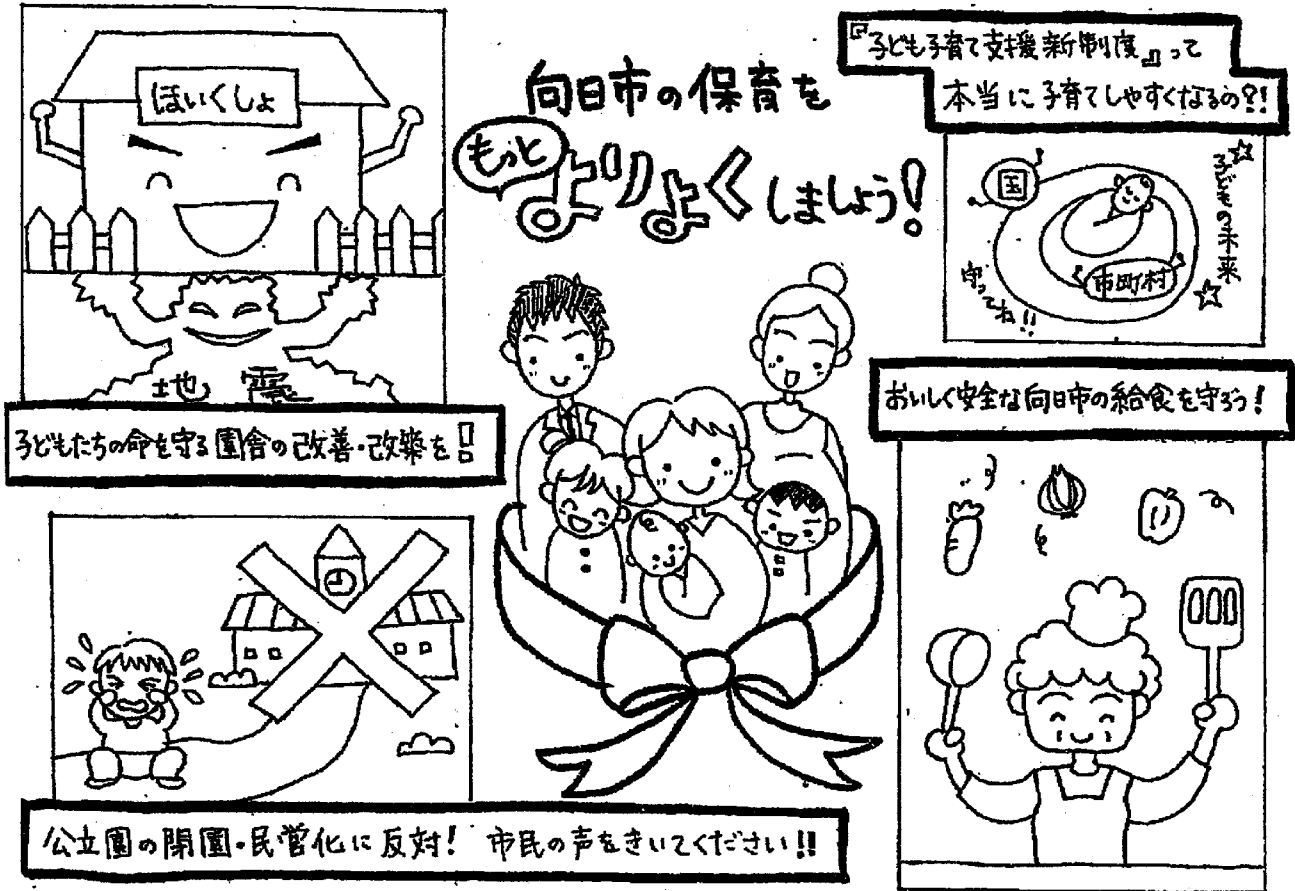
飛鳥井 佳子

杉谷 伸夫

2013年

向日市の保育の拡充を求める請願

向日市の保育は市の財産です。子どもは地域の宝です。



請願理由

今年3月向日市立第3保育所が市の施策により閉園しました。閉園の一方的通知からわずか1年半余りのことでした。在園児は原則として新しくできる民間園への転園を求められましたが、十分な説明が尽くされないままでの閉園や引継ぎを含め転園前後の行政の対応等には大きな問題があり、行政への不信は高まっています。国は2015年に子ども・子育て支援新制度の本格実施を目指していますが、運用ルールや施設基準・認可基準等は市が決めるとされており、市の保育に対する姿勢がますます問われることとなります。今回のように公立園の閉園が関係者の声を聞かないままに決定されることがないように、子ども・子育て会議の委員には保育士・保護者も含めるようにし、現場の声を反映してこれまで築いてきた向日市の保育を維持、向上することを私たちは願っています。かつて向日市は「子育てするなら向日市」と言われたほど保育水準の高い街でした。現在も年度初めには待機児童0を維持しているものの、年度途中には待機児童があり、また地域にねざし、民間と切磋琢磨しながら保育内容を向上させ、市の保育を引っ張ってきた6公立園も今や4園となってしまいました。現場では老朽化や「すし詰め保育」、非正規保育士の増加など、多くの問題を抱えぎりぎりの状況で保育の質を保っているのが現状です。子どもの貧困や親の生活不安定等社会的な問題が増加する今だからこそ、子どもの発達の保障には欠かせない保育所が安全で安定した環境である必要があります。どうぞご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

請願項目

1. 憲法にもとづいて子どもの権利を守り、豊かな保育を保障するため現行の保育水準、基準からの後退を許さず向日市の責任で公的保育を維持・拡充してください。
2. 保育行政に市民・保育現場の声を反映させるため、子ども子育て会議には、保護者・職員も委員として入れてください。
3. 向日市の伝統ある公立園を守ってください。
4. 子どもたちの命を守るため、老朽化した保育園舎は、民間園として建て直すのではなく公的責任で改善・改築してください。
5. 向日市の保育を充実させるために、国に対して保育予算の増額を求めてください。
6. 年間を通じて待機児童ゼロを実現してください。
7. 子どもたちの安定的な保育環境を維持するために正規職員の増員を行ってください。
8. 育児休暇中の保育継続の年齢を拡大してください。
9. 離乳食・アレルギー対策などきめ細かな対応ができる、おいしく安全な向日市の保育所給食を守り民間委託はやめてください。

平成25年11月29日

向日市議会議長

磯野 勝 様